

保健連絡協議会だより

武雄市『がばい』たっしやかプラン推進委員会報告

「禁煙分煙がすすんでいます！」

11・12月の禁煙推進月間に合わせ、武雄市の「がばい」たっしやかプラン²¹では、「タバコとお酒を控えんばあ」を推進しています。

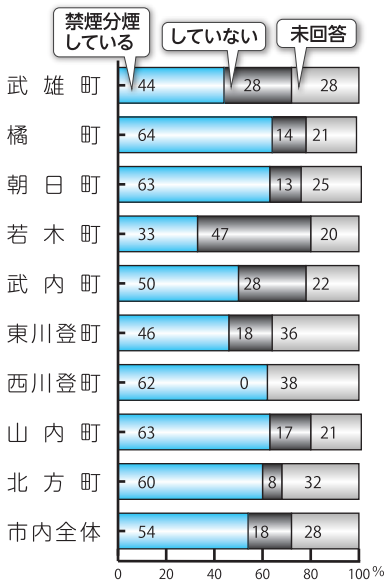
●禁煙分煙の公民館が増加

昨年まで禁煙分煙を実施していない（昨年末回答も含む）131の自治公民館、集会所を対象に禁煙に関するアンケートを実施しました。68の施設から回答いただき（回答率51・9%）、昨年の結果と合わせ、219の自治公民館等のうち118の施設で禁煙分煙を行っている（約54%・昨年比23施設の増加）ことがわかりました。

また、今回のアンケートでは禁煙分煙ができていない40カ所のうち、15カ所は改善予定という回答でした。

年々禁煙分煙の意識は高まっています、各地区での対策は、進んでいる状況にあります。

各町の禁煙分煙取組み状況



禁煙分煙に関するみなさんのご意見

- 親睦会や慰労会の場合、禁煙分煙は難しいと思う。
- お互いに喫煙者には注意できる環境であるため、対策までする必要はない。
- タバコが体に良くないので、禁煙分煙対策は必要
- 禁煙スケジュールを立て、地域で取り組んだ。
- 地区座談会で禁煙分煙について意見集約を行ってみる。

【健康増進法第25条】

（前文略）
 多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙（室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることを言う）を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない。

●禁煙分煙への理解が大切

回答には、喫煙が健康に害を及ぼすことは理解しているが、禁煙分煙対策はむずかしいという意見もありました。

●法律では

「健康増進法第25条」では、施設管理者に「受動喫煙防止」措置の努力規定が定められています。

タバコは、がんの原因になるだけでなく、胃腸や気管支・肺の病気を引き起こしやすくなります。また、動脈硬化を促進させ、生活習慣病の原因となったり、悪化させたりします。

多数の方が利用する施設は、禁煙分煙の措置を講じる必要があります。

がん検診のススメ

「がん」で命を落とさないために①

参考書籍「がん検診のススメ」
 中川恵一監修／がん検診企業
 アクシオン事務局発行

●タバコがなくなれば、男性のがんが3分の1減ります

がんの最大の原因は、タバコです。タバコがなくなれば、男性のがんの3分の1がなくなるといわれます。

現在、日本で死亡者が最も多いがんは、肺がんです。タバコが原因の肺がんは男性で70%、女性で20%。特に若い人の喫煙は危険で、20歳未満で喫煙を開始した人は、吸わない人の約6倍も肺がんによる死亡率が高いのです。

ノドのがん・胃がん・食道がん・肝臓がんなども、タバコで増えます。さらに、タバコの最大の問題は、受動喫煙による他人への影響です。受動喫煙で、まわりの人が吸い込む煙の方が、発がん性が高いのです。

問 くらし部 健康課
 ☎(23)9135



担当:犬塚

問 くらし部 がん検診率向上課
 ☎(23)9131



担当:石橋